

議会だより

あなたと議会を結ぶ架け橋



フィッシングパークで馬そり体験開始 株式会社 ウマノバ

…… も く じ ……

代表質問……………	P02	表決結果……………	P08
本会議……………	P04	一般質問……………	P09
補正予算……………	P06	議会全員協議会……………	P19
開会中常任委員会……………	P07	閉会中常任委員会……………	P20

【令和7年12月定例会の動画視聴】

12月16日から25日までの定例会や一般質問はインターネットを通じて視聴ができます。ライブ配信もしていますが、当日の動画を録画し、視聴ができるようになっています。この機会にご覧ください。



町長の所信表明は町広報1月25日号をご覧ください

町長の所信表明に対する代表質問

12月16日

※代表質問は、委員会を代表する議員が行政の重要課題について執行部に質問する場です。

文教総務委員会



代表質問者
水谷 幸乃

湯沢高原ロープウェイ

湯沢高原ロープウェイの譲渡の現状は。

A 運営事業社の日本ケープル株式会社と協議を継続中。譲渡の方向性で大筋合意済み。令和14年6月1日の譲渡を目標としている。



放課後児童クラブ

Q 待機児童ゼロを目指しとあるが現在の待機児童の有無は。

A 年度当初に5年生6名の受け入れを一時保留としたがその後解消。

現在は待機児童ゼロ。

Q 移転による放課後児童クラブの受け入れ体制の具体的な拡充内容は。

A 受け入れ人数40名から80名へ倍増。職員も2名から4名へ増員。今後定員が超えても実際の平均利用人数を考慮し、特別な理由がない限り希望者全員の受け入れを目指す。



財政運営指針

Q 今後どのような基準をもとに公共施設を重点的に見直ししていく予定か。

A 公共施設のあり方アンケートの結果、可能な限り施設の存続を望む声が多数であった。この結果を踏まえ現行施設の継続を第一目標として取り組む。

生活福祉常任委員会



代表質問者
宮田 真理子

介護予防事業の継続

Q 介護予防事業を継続するとある。新たな具体策はないのか。高齢化率40%という状況において、現在の13%という低い要介護認定率を今後維持していくための具体策は何か。

A 多職種連携によるフレイル予防・栄養・口腔・運動・メンタルヘルス・ICTを使った見える化を進めていく。

やさしい町づくり

Q 高齢者が健康で安心して生活できる「やさしい町づくり」とは何か。町の立場と高齢者の立場では見方が異なると思われるがどうか。

A 町は、持続可能な福祉体制の構築を目指す。高齢者は、地域の一員として経験を活かし尊厳を保ちながら暮らすことである。



産業建設 常任委員会



代表質問者
岸野 雅人



外国人観光客の受け 入れ環境整備

Q 課題と施策は。

A 主に二次交通や夕食漂流者問題や、外国語対応人材、労働力不足、ガイド情報提供。

宿泊税の導入

Q 観光特化の目的と使い道、明確な説明を。税率・徴収対象・導入時期等、協議状況は。

A 使途は観光振興計画に基づく事業。税率は改めて判断。徴収対象は民泊などを含む宿泊施設。導入時期は1年先送りし、令和9年度以降。進め方の協議が進んでいる。

移住者の定着状況

Q 移住者の居住率、就職率、Uターン割合は。関連し企業誘致の失敗に「反省はない」だったが、所信はどうか。

A 個人情報保護、追跡調査はしていない。ただし補助金返還者はない。

内訳では49名中Uターン者は4名。起業支援補助金の6名は事業継続中。引き続き企業誘致を進めたい。

行財政運営の健全化

Q 見直しの具体的構想や方向例が示されなければ伝わらない。事業と施設、どう強化と縮小をするのか。

A 財政運営指針は、必ずしも見直しありきではない。持続可能な業財政運営と公共サービスの充実を実現して行きたい。

「はじめに」と「おわりに」

Q 挑戦するのだが、取り戻すのか、よくわからない。解説を求める。

A 始めにと終わりにはいずれも、未来に向けた取り組みと挑戦を通じて、湯沢の魅力と活力を再生しさらに高め、次世代へつなげていくという共通の思い。



バリアフリー化計画

Q 高齢者が元気でいきいきと交流・活動できるように助成事業や高齢者団体への支援はしていくようだが、町内施設のバリアフリー化への今後の計画はどうか。

A 新たなものはないが、住宅・事業所バリアフリー化や介護住宅改修等の支援は引き続き行う。

経営強化プラン

Q 湯沢病院の地域包括ケア病棟の稼働率が低調であるが、どのように改善していくか。「町立湯沢病院経営強化プラン」に基づき必要な改変

を行うという内容を伺う。

A 町として地域包括ケア病棟への理解を周知広報し、広めていく経営強化プランは令和6年～9年の4年間とし策定した。現状は厳しい。収益増と経費削減を行っていききたい。

個別避難計画

Q 高齢者及び障がい者の避難誘導等、有事の際の新たな方策の検討はなされているか。

A 要支援者の名簿作成、個別避難計画など実行性のある方策を進めている。



12月定例会 本会議審査

12月16日

※12月定例会本会議審査は、各常任委員会での審査を経た議案を最終的に本会議で審議・議決します。

本会議追加 議案審査

12月25日

報告 新潟県市町村総合事務組合 規約の変更の専決処分の報告

新潟県市町村総合事務組合の共同処理事務である採用試験等の実施方法が多様化したことを背景に、村上市及び南魚沼市が令和8年3月31日をもって組合を脱退。これに伴い組合規約を変更する必要があるため、専決処分を行った。

賛成全員 ↓ 了承

承認 令和7年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認

歳入歳出それぞれに673万5千円を追加し、予算総額を97億2,437万6千円とする。

本補正予算案は、特にインバウンド観光客をはじめとする路線バス利用者の利便性向上と運転手の負担軽減を図るため、地域公共交通におけるキャッシュレス決済システム導入を推進するもの。

賛成全員 ↓ 承認

承認 令和7年度介護保険特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認

歳入歳出それぞれに129万6千円を追加し、予算総額を9億9,299万5千円とする。本補正予算は、町内の介護サービス事業所における人員不足が深刻化し、特に在宅高齢者の入浴機会の確保が困難になっている状況に対応するための「ミニデイサービス事業」を緊急的に実施する。

主な質疑

Q ①「ミニデイサービス」は入浴に特化したサービスか。②事業の責任管理者は誰か。③対象者の区分はどのようなになっているか。④会計年度任用職員が直接介助を行うのか。⑤医療的処置が必要な利用者への対応は可能か。

A ①本事業は、住民が主体となる「通所介護型サービスB」と位置づけている。②管理者は、地域包括支援センターの管理者である健康福祉

部長が務める。③対象は、要支援認定者、または基本チェックリストにより該当すると判断された事業対象者である。④スタッフは、これまで介護予防事業にアシスタントとして協力していた者を会計年度任用職員として任用し、対応する。⑤医療的処置を必要とせず、比較的自立して行動できる方を主な対象としている。

賛成全員 ↓ 承認

諮問 人権擁護委員候補者の推薦

現任の人権擁護委員1名が任期満了を迎えるにあたり、その後任候補者を法務大臣に推薦。

任期：令和8年4月1日から令和11年3月31日までの3年間。

腰越和子氏

賛成全員 ↓ 適任

議案 湯沢町保健医療センターの指定管理者の指定

現指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会を、令和8年4月1日から始まる5年間、引き続き指定管理者として指定する。

賛成全員 ↓ 可決

議案 湯沢町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

本議案は、令和7年人事院勧告に基づき、国家公務員に準じて町職員の給料表及び諸手当を引き上げるための条例改正。

賛成全員 ↓ 可決

議案 令和7年度一般会計補正予算(第6号)

本議案は、給与改定に伴う人件費の調整に加え、国の地方創生臨時交付金(物価高騰対応重点支援分)として、8,315万2千円を増額計上し、町民への1人1万円の現金給付等を行うための、歳入歳出総額を8,116万6千円増額する補正予算である。

賛成全員 ↓ 可決

議案 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

職員給与改定及び人事異動に伴う人件費の過不足を調整し、歳入歳

出総額を41万1千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9億7,417万2千円とする。

賛成全員 ↓ 可決

議案 令和7年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

職員給与改定及び人員配置の変更に伴う人件費の過不足を調整し、歳入歳出総額を525万1千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ10億4,613万6千円とする。

賛成全員 ↓ 可決

議案 令和7年度水道事業会計補正予算(第2号)

職員の給与改定及び代替職員の任用に伴う人件費を計上するため、収益的支出を196万9千円増額し、総額を3億785万1千円とする。

賛成全員 ↓ 可決

議案 令和7年度病院事業会計補正予算(第3号)

湯沢病院の照明設備LED化事業においてリース開始が次年度に延期されたことに伴い、当該年度の収益的収入及び支出を各400万円減額するとともに、債務負担行為の期間を改めるもの。

賛成全員 ↓ 可決

討 論

教育関係請願(30人学級・国庫負担制度復元)

反対討論主旨 岸野雅人

教員の負担減への動きは理解できるが、むしろ賃金を上げる方に注力すべきと考える。視線がきめ細かくなれば、課題も増える。そう言うものと思う。

ぎりぎり35人の学年、36人で2学級になった学年または類似の例、学習効果の比較研究の機会はあるはず。根拠を示して頂きたい。

賛成討論主旨 飯田正義

子どもの貧困・いじめ・不登校や教職員の長時間労働が深刻化する中、30人学級の実現により一人ひとりに向き合う時間を確保する必要がある。国庫負担が2分の1から3分の1に削減されたことで自治体間の教育格差が拡大しており、国の責任において義務教育費国庫負担制度を2分の1に復元し、全国どこでも一定水準の教育を受けられる環境を整えるべき。

スキー場関係請願(免税軽油制度)

賛成討論主旨 飯田正義

道路を使わない圧雪車や降雪機に道路税をかけないという税の公平性原則に基づき、25年間継続されてきた免税軽油制度の継続を求めたもの。廃止されれば町内10スキー場で免税分がコスト増となり、圧雪車高騰・施設老朽化・エネルギーコスト上昇・人手不足の四重苦に直面する業界に致命的打撃を与える。湯沢町の基幹産業を守るため地方の声を国に届けるべき。

新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組に関する意見書の採択を求める請願

賛成討論主旨 南雲あや子

本請願に強く賛成する。水俣病問題は半世紀以上を経た今も、未救済被害者が健康被害に加え差別に苦しんでいる。阿賀野川流域では症状を訴えることが偏見を生み、沈黙と孤立を招いてきた。国はこの責任を重く受け止め、未救済被害者に届く新たな救済制度を創設すべきである。科学的知見に基づく健康調査を速やかに実施し、実態解明と差別解消、

正当な救済につなげるべきである。

物価上昇に具合う年金引き上げを求める意見書の提出を求める請願

反対討論主旨 水谷幸乃

今の高齢者は安い年金を納めて年金を受給。若者は高い年金を納めて年金を受けられる保証もない状況。年金引き上げは少なからず若者へのしわ寄せもあり得る。年金受給者には一定の資産を有し、その恩恵を受けている高齢者もいる。一律の年金引き上げは反対で、低所得者への支援が必要と考え反対。

賛成討論主旨 南雲あや子

物価上昇に見合う老齢基礎年金の改善は、社会全体の安心と持続可能性を確保する上で不可欠である。現状の年金額では生活費の高騰に追いつかず、特に女性高齢者は非正規雇用や賃金格差の影響で生活の困難さは顕著である。年金を物価に連動させることで購買力を維持し老後の安定を図るとともに、若者の将来への信頼感を高め、世代間の連帯と持続可能な経済循環を促進すると考える。よって賛成である。

令和7年度

一般会計補正予算審査 特別委員会

12月16日

※一般会計補正予算審査特別委員会は、年度途中の行政需要に対応するため、予算の追加や変更を審査する委員会です。



委員長
南雲 あや子

Q 公衆浴場の光熱費の高騰と病院の損失補填の根拠は。

め撤去。

A 公衆浴場は、10月までの燃料費・電気・上下水道等の実績を踏まえ、11月以降は昨年度実績を基に不足額を算出。病院事業赤字の主因は、地域包括ケア病床稼働率目安の70%を大きく下回り50%にとどまった。さらにコロナ禍後の受診控えや近隣クリニック閉院による紹介入院減少が重なった。

Q 学園は病気が流行っているか。

A 先々週ぐらいまでインフルエenzaが流行。先週ぐらいから落ち着いたらと学校から報告あり。

Q 境界裁判の弁護士費用の内容は。

A 弁護士稼働時間2,505時間を基準単価の4割で算出し、顧問扱いにより668万円に縮小。既支出の着手金160万円を差し引き、消費税を加えた。

Q 湯沢産米提供補助金の増の原因と価格設定の決定方法は。

A 新潟県学校給食会から提示される数字に基づく。当初は地元農家から直接供給していた。給食会を通じての購入が必要となったため変更。11月分から価格が上昇。

主な質疑
Q アーバンベア農をどのように仕掛けたか。
A ドラム缶型農を3か所設置。出沒箇所と要望場所。現在は降雪のため

賛成全員 ↓ 可決すべきもの

総額1億3,786万8千円を追加し
総額を98億6,224万4千円

主な歳入

国庫支出金	地方創生臨時交付金	3,323万2千円
県支出金	災害弔慰金負担金	187万5千円
	地域の移動手段確保支援事業	500万円
	アーバンベア捕獲緊急支援事業	314万2千円
財産収入	基金利子収入	331万5千円増
繰入金	財政調整基金繰入金	8,629万1千円増

主な歳出

総務費	一般管理費：弁護士	558万8千円増
	財産管理費：基金管理費	331万4千円増
民生費	災害救助費：災害弔慰金	250万円
衛生費	公衆浴場費：修繕料	300万円増
	共同浴場指定管理料	1,150万円増
農林水産業費	農業振興費：鳥獣被害対策実施隊員	55万2千円増
	有害鳥獣駆除	25万円増
	捕獲わな等	204万円
土木費	道路橋梁維持費：除排雪機械等修繕料	700万円増
	消雪施設改修	2,600万円増

説明要旨

・**繰越明許費** 林道一之沢滝ノ又線改修437万3千円、湯沢フィッティングパーク内倒壊建物再建築2,810万円、大源太川第1号砂防堰堤仮排水トンネル照明設備100万円の3件を追加
・**債務負担行為補正** ふるさと納税サイト管理・新規返礼品開拓等事業、湯沢学園児童生徒バス運行業務、指定管理者との協定に基づく湯沢児童クラブ指定管理業務の3件を追加
・主に地方創生臨時交付金や国民健康保険の国庫負担金の額の確定に伴うもの

開会中の常任委員会審査

12月17日

※閉会中常任委員会審査とは、定例議会中に行われる議案審査を本会議の議決に先立って3常任委員会で行う審査です。

総務文教常任委員会

委員長 渡辺千恵

湯沢町犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等基本法に基づき、被害者の支援と地域社会の安全確保を目的とする条例を制定。

賛成全員 ↓ 可決すべきもの

「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元」に係る意見書の採択を求める請願

子どもたちが全国どこに住んでいても一定水準の教育を受けられるよう、学級編成標準を30人以下に引き下げ、教職員定数改善、働き方改革、国庫負担2分の1の削減の意見書の採択を要請。

賛成多数 ↓ 採択すべきもの

生活福祉常任委員会

委員長 南雲好幸

令和7年度国民健康保険特別会計補正予算

資格確認書（従来の保険証に相当）の用紙代を追加、療養費および高額療養費の増額などにより2,137万2千円を追加。

賛成全員 ↓ 可決すべきもの

令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算

保険料収入見込み等に基づく納付金増額により389万1千円を追加。

賛成全員 ↓ 可決すべきもの

町立湯沢病院医師住宅貸付条例の一部を改正する条例の制定

湯沢町総合福祉センター内設置の医師住宅5室のうち、3室を住宅として廃止。

賛成全員 ↓ 可決すべきもの

令和7年度介護保険特別会計補正予算

保険給付費増加により5,839万2千円を追加。

賛成全員 ↓ 可決すべきもの

令和7年度病院事業会計補正予算

医業外収益を5,081万3千円増、医業費用を5,270万9千円増などを補正。

主な質疑

Q 損失発生の主な理由は。

A 最大の要因は入院患者数の減少、特に地域包括ケア病棟の稼働率が50%に留まったこと。更に、物価高騰と診療報酬の改定の遅れ。

賛成全員 ↓ 可決すべきもの

新潟水俣病全被害者の救済と問題の採択を求める請願

救済制度の見直しや健康調査が不十分で問題は未解決。新たな救済制度の確立と住民健康調査の実施を求める意見書の採択を要請。

賛成全員 ↓ 採択すべきもの

物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書の提出を求める請願

年金積立金も活用し、物価上昇に

見合う年金の引き上げを実現するよう国に求める意見書の採択を要請。

賛成多数 ↓ 採択すべきもの

産業建設常任委員会

委員長 並木利彦

湯沢町給水条例の一部を改正する条例の制定

月に15日以下の使用水量に係る料金についての明確な記述がないことから改正。

賛成全員 ↓ 可決すべきもの

湯之沢跨線橋における橋梁補修工事の施行協定締結

昨年度行った設計に基づき工事を行う。(8,450万3千円)

賛成全員 ↓ 可決すべきもの

免税軽油制度の継続を求める意見書の採択を求める請願

令和9年3月末で廃止予定。制度廃止により、スキー場事業者は大きなコスト増を負うことになり、経営の継続が困難になる恐れがあり地域経済、特に観光業に深刻な影響を及ぼすため免税軽油制度の継続を要請。

賛成全員 ↓ 採択すべきもの

※議員表決結果報告は、臨時議会および定例会における各議案に対する議員の賛否や採決結果を明らかにする報告です。

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠）：議長は採決に参加できません

提出者	議 案 名	採決結果	富	飯	水	南	渡	南	並	高	岸	田	宮	
			沢	田	谷	雲	辺	雲	木	橋	野	村	田	
			雅	正	幸	あ	千	好	利	政	雅	計	眞	
			文	義	乃	や	恵	幸	彦	喜	人	久	理	
			文	義	乃	子	恵	幸	彦	喜	人	久	子	
12月	町	令和7年度一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度介護保険特別会計補正予算（第2号）の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		人権擁護委員候補者の推薦	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯沢町犯罪被害者等支援条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		町立湯沢病院医師住宅貸付条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯沢町給水条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯之沢跨線橋における橋梁補修工事の施行協定締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯沢町保健医療センターの指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯沢児童クラブの指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度一般会計補正予算（第5号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度病院事業会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯沢町職員の給与に関する条例等の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度一般会計補正予算（第6号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		12月	議長	令和7年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度水道事業会計補正予算（第2号）	可			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度病院事業会計補正予算（第3号）	可			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
免税軽油制度の継続を求める意見書の採択を求める請願	可			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元」に係る意見書採択を求める請願	可			○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組に関する意見書の採択を求める請願	可			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める請願	可			○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議会提出	免税軽油制度の継続を求める意見書			可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会提出	「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元」に係る意見書	可	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	
	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	

代表質問

本会議

補正予算

開会中常任委員会

表決結果

一般質問

議員全員協議会

開会中常任委員会

町政を問う

「町政を問う」は、本会議で行った各議員の一般質問のページです。一般質問とは、執行部（町長や教育長）に対し、町政全般について事務の執行状況や方針をただしたり、報告や説明を求めるものです。執行部の回答時間も含め一人当たりの持ち時間は60分以内です。このページでの掲載文は、質問者本人が自分の質問内容を要約したものです。

なお、議会ホームページでは、全ての内容が録画されたものをご覧いただけます。

南雲 あや子 …………… 10

Q 買い物弱者を出不さないための対策を

南雲 好幸 …………… 11

Q 所得ランク湯沢町が11年ぶり県内トップとは

飯田 正義 …………… 12

Q 成長投資予算獲得の専門チームについて

渡辺 千恵 …………… 13

Q 熊出没の対策について「今すぐできる政策」「長期的な政策」を同時に進めていくべき

富沢 雅文 …………… 14

Q 国道17号員掛・二居間道路改良の早期事業化を

高橋 政喜 …………… 15

Q 十日町市&湯沢町の境界問題

水谷 幸乃 …………… 16

Q 立柄橋付近におけるスケートボード行為への対応は

宮田 真理子 …………… 17

Q 熊による被害対策について

岸野 雅人 …………… 18

Q 外国人・移住者向け条例などの整備を



な ぐも こ
南 雲 あや子 (文責)

Q 買い物弱者を出さないための 対策を



&

A どのようなことができるか、 これからも考えていく



「やまぶきの集い」みんな仲良し



午後から楽しいお買い物

質問

2025年3月にも同様の質問を行った。町長答弁では、高齢者の買い物支援ニーズは高いと認識しており、「福祉バス」や「高齢者等路線バス運賃助成事業」などを実施し、公的サービス以外にも食料品確保が図られる環境にあるとの認識が示された。その後、4月から「やまぶきの集い」において買い物支援が開始され、会員数も増加し、移動中や買い物中も楽しそうにしているとの声を

聞いている。また、土樽路線バスのダイヤ改正も実施され、利用者および担当職員から使い勝手が向上したとの評価があり、要望した町民からは迅速な対応に感謝の声が寄せられている。

しかし、冬季の豪雪や熊の出没などにより、買い物環境は依然として厳しい状況にある。3月答弁で示された、①民間サービスの状況を踏まえ町社協等と連携して検討する

は何であったのか、また実施に至っているのか。②令和7年度から開始予定とされたデマンド交通導入に向けた実験はすでに始まっているのか。③高齢者に寄り添う取組みとして行うとした聞き取り調査は、どのような形で実施されたのか、伺う。

答弁

①商品を住民に届けるという観点から検討。②デマンド交通は1つの手段。令和7年度はイベントシャトルバス及びツアーバスの一般

質問

買い物支援策として傘がけられていた町内スパーの買い物バスが現在運休しており、特にマンション居住者が深刻な影響を受けている。運転手不足や人手不足により再開の見通しは立っておらず、重い荷物を背負い長距離を歩いて帰宅する高齢者の姿も見受けられる。路線バスや鉄道でカバーできない地域においては、利用者の需要に応じて運行する交通手段の構築が不可欠である。町民の笑顔と幸せを実現するため、買い物弱者を含む町民の移動手段確保を町としてどのように進めていくのか伺う。

答弁

ワンコインで乗れる路線バスや福祉バスが運行されている。町としてのどのようなことができるか、これからも考えて行く。



Q 所得ランク 湯沢町が11年ぶり 県内トップとは

なぐもよしゆき
南雲好幸(文責)



A 企業利益等も含めた平均であり、 個人所得の水準ではない

質問

町民意識調査では、19から39歳の半数弱が「町外に移りたい」意向である。労働力も町外依存度は35%と高いままである。

「一人当たり所得421万円」と新聞に出た。資産まで含め、少ない人口で割った平均値が一人歩きすると誤解を招く。そこで、町民に豊かさの実態を表す基準になる数字、例えば中央値を活用し町民の実感に近い数値を示していく必要があるのではないか。

答弁

町民税の基になる所得額を用いて町民の所得の推移を測る方法を検討したが、非課税者が入らず、町独自の数値を示すのは難しい。

労働力の 外部依存脱却を

質問

日本は約50万人の人手不足だが、若年無業者(15〜34歳の家事・通学をせず求職活動をしていない人は約60万人。根本原因を解決せず、労働力を外部に依存

我が町も若者の流出と労働力の外部依存という課題がある。町民自らが子育てと人材育成を行い、町を守る政策が必要。

例えば、医療、教育は町民の生命財産の根本を支える行政サービスの人材不足が深刻である。これらの職種を目指す学生へ「返済不要の給付型奨学金や修学資金貸与制度」の進学助成の範囲を広げられないか。

答弁

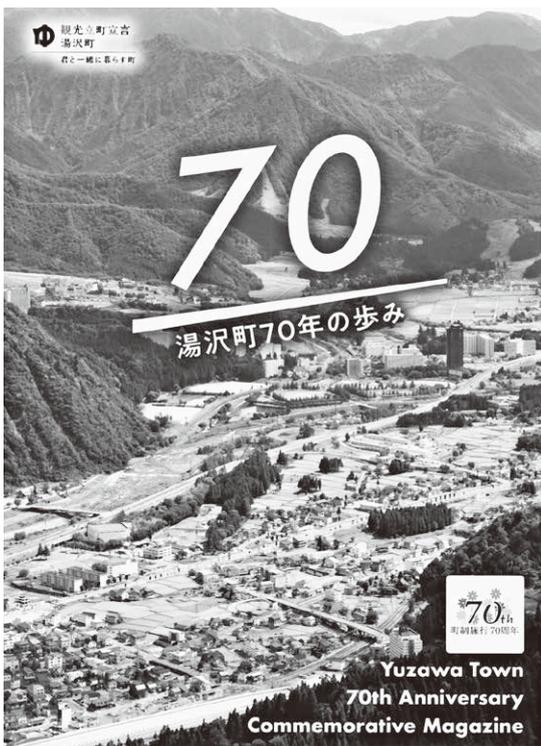
湯沢町に帰ってきてきて医師、保健師、保育士となることを望むが、他の市町村も参考にし、研究したい。

定住意識の 低下に歯止めを

質問

10年間の町民意識調査から定住意識の低下が見られる。

湯沢の自然を愛する心、先人が築いてきた文化や伝統を誇りに思い、外に自慢したくなる心、絆などの心の「根っこ」が定まる必要がある。町には町民憲章がある。これを具現化することである。町民憲章制定は、1985年10月22日、一ありがとう。湯沢の日制定は、2005年10月



昨年10月4日70周年式典で配布された記念冊子

答弁

16日。更に11月1日は越後湯沢駅開業日。上越線が開通しなければ今の湯沢町の発展は無かった。10月には「スポーツの日」があるが、10月第2月曜日という謂れない日になっっている。そこで、この日を「湯沢町民憲章記念日」と制定し、町民憲章にちなんだ行事と共に、町民の共有する誇りと絆の象徴として、上越線建設を成就した先人の顕彰を行う日にしてはどうか。提案についてはしっかりと検討し考えたい。

「わたしたちのねがい」

湯沢町民憲章

美しい自然に生まれ育った湯沢

さよらかな愛情あふれるまち

すこやかな活力みなぎるまち

さわやかな誰もが訪れたいまち

みんなで力をあわせ

豊かで明るく住みよい

文化の香り高い町をつくりましょう

裏表紙の町民憲章



Q 熊出没の対策について「今すぐできる政策」「長期的な政策」を同時に進めていくべき

& 渡辺千恵 (文責)



A 関係機関と連携して進めていきたい

今すぐ取り組む対策

質問 柿の木伐採を業者に頼むと、場所、高さ、廃材処分費などにより高額になる。伐採について補助金の検討を。

答弁 前向きに検討する。

質問 現在猟友会は17名。すぐ動ける方は5名と聞いている。高齢化、担い手不足に対してガバメントハンターの導入の検討、期間限定の職員採用等の柔軟な対応を検討しては。

答弁 ガバメントハンターについては、改めて考えていかなければならないが、どんなことをしていけるのか考えていく。

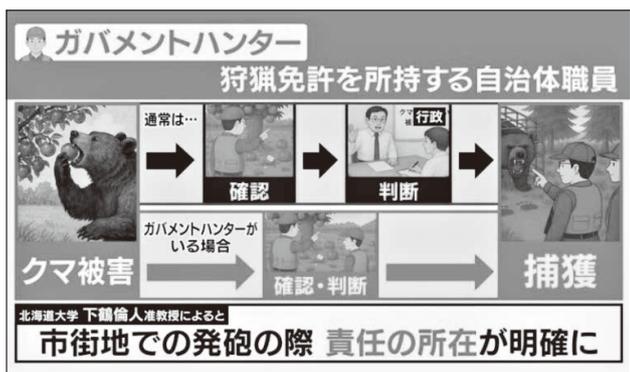
質問 熊の捕獲は危険が伴う。現在の猟友会の補助金では少ないのではないか。町からの要請の場合について熊駆除補助金の検討を。

答弁 今年度中に検討していく。

長期の対策

質問 生活スタイルが変わり、山で炭を焼いたり、火を使ったり、整備をする方が減り、山が放置されている。森林環境譲与税を有効活用し、杉木の間伐など「里山整備」を進めるべきではないか。また町有林の間伐材を販売し、収入を里山整備にあてられないか。

答弁 現在データ収集をして取り組み中、里山整備は進めていかなければならない。



人口減少問題は「補助金などの制度」だけではなく「湯沢町の未来像」ではないか

質問 湯沢町の人口減少への取り組み、補助金制度は他自治体と比較しても遜色ない。しかし若者、移住者に聞き取りをすると「仕事と雇用の創出」、「教育と子育て環境」、「安心できる医療環境」、「暮らしと生活環境の充実」、「人とのつながりとコミュニティ形成」と5つの課題が出た。それぞれの課題について町の土台作りを考えていく必要があるのではないか。

答弁 予算的な問題もあるが、現状を把握しながら検討する。

質問 「君と一緒に暮らすか」というビジョンではないか。そんな町づくりを目指すべきではないか。

答弁 「君と一緒に暮らす町」が町のブランドスローガンである。持続可能な町づくりを目指し、現在の補助金制度をはじめ取り組んでいく。

質問 湯沢町の高齢者の割合は約40%、湯沢町を担う世代が増えないと高齢者を支えられなく、町も持続できない。若者世代が求めていることは「この町でどんな未来が描けるか」



この町でどんな未来が描けるか



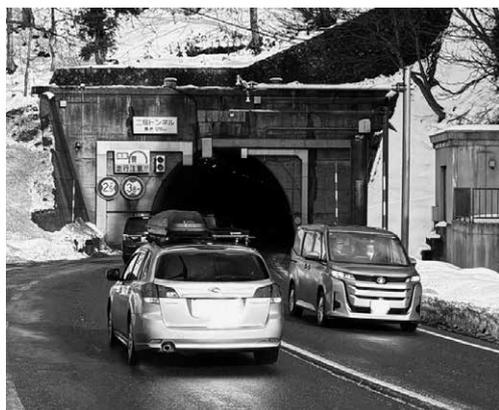
Q 国道17号貝掛・二居間道路改良の早期事業化を

&

とみ ざわ まさ ひみ
富 沢 雅 文 (文責)



A 毎年、国・県に対して要望を行っているが、今後は国土強靱化・防災減災という観点から極めて重要な事業であるということをさらに強調し要望していく



二居トンネル（二居側）

質問

国道17号貝掛・二居間急勾配、急カーブにより湯沢管内でも特に交通難所区間となっている。毎年のメンテナンス工事、事故の発生などから一刻も早く事業化する必要があるが、町の現在の取り組みは。

答弁

毎年、財務省や国土交通省の大臣、副大臣、大臣政務官、事務次官、担当部署長、所長などに対し直接要望活動を行っている。また、群馬県みなかみ町と湯沢町で構成している「国道17号群馬新潟県境地区の防災事業促進期成同盟会」では、県選出の

質問

国会議員や県会議員とともに国土交通省に対し要望を行っている。また、南魚沼市と構成している「一般国道17号湯沢南魚沼道路整備促進期成同盟会」でも国土交通省北陸地方整備局長や長岡国道事務所長に対し要望を行っている。

質問

は。

答弁

この1月16日にも県知事に会う際にも話をすることになる。財政負担は基本的には国3分の2、県3分の1の負担割合であるが、新潟県は財政難である。そうした中、国土強靱化の中期計画が始

質問

早期事業化として、地元町内会等で何かできることはあるか。

答弁

国道17号は地域にとっての生命線である。早期事業化として、地元町内会等で何かできることはあるか。

あるが、国や県にとっても国土強靱化、防災減災という観点から極めて重要な事業であるということを一層強調し

三俣防災の進捗について

質問

「三俣防災事業」の現在の進捗状況、順調なのか何か課題があるのか、開通・共用開始の見込みは。

答弁

工事の進捗状況や課題、開通、共用開始などについて国土交通省に問い合わせたところ、令和5年度より芝原地区において工事に着手し、新芝原トンネルの湯沢側において、切り戸、雪崩予防策等の改良工事を施工、八木沢・三俣地区において、用地買収及び埋蔵文化財の有無について調査を進めており、現時点では順調に事業が進んでいるとのこと。共用開始の見込みについては、用地買収未了や埋蔵文化財調査、トンネル掘削における地山の状況などの不確定要素があることが

要望していくつもりなので、その後押しをぜひ地元の方からお願いしたい。

質問

現時点では示すことができないとのこと。

質問

用地取得率が91%となっているが、何か問題があるのか。

答弁

個別の状況は話すことができないが、長岡国道事務所からは順調であるという話を聞いている。

質問

「三俣防災事業」の事業費は全体でいくらなのか。（この質問の趣旨は、貝掛・二居間の改良が、三俣防災事業よりも大規模な事業となることが見込まれるため、町民の皆様はその費用感をイメージしていただくために行ったものです。）

答弁

約120億円で国3分の1、県3分の1の負担と聞いている。



Q 十日町市&湯沢町の境界問題

たか はし まさ き
高橋 政 喜 (文責)



A 約35年費やし最高裁で判決

質問 境界問題は、平成2年の交渉が始まり・県の調停・東京高裁・最高裁迄約35年の境界問題も結審した。その最高裁の内容。調書(決定)「決定日 令和7年10月 日」「裁判所・最高裁判所第一小法廷」「当事者等・原告人兼申立人十日町市」「被告人兼相手方湯沢町」裁判官全員一致の意見で次のとおり決定。

「主文」 1 本件上告を却下する。2 本件を上告審として受理しない。3 上告費用及び申立費用は上告人兼申立人の負担とする。第2理由1上告について、民事事件について最高裁判所に上告することが許されるのは民法312条1項又は2項所定の場合に限られるところ、本件上告の理由は、理由の不備・食違いをいうが、その実質は事実誤認又は単なる法令違反を主張するものであって、明らかに上記各項に規定する事由に該当しない。2 上告受理申立てについて。本件申立ての理由によれば、本件は民法



マイクロフィルム閲覧機



万年橋遊歩道

318条1項により受理すべきものとは認められない。本件に関わった職員に一言。

答弁 長年の懸案であった境界未確定の解消が図られ、本件に関わった担当職員多くの関係者に御礼申し上げます。

質問 「湯沢町雪国館」には、町の歴史等に関する資料がマイクロフィルムに保存されており、劣化の恐れが懸念されますがマイクロフィルムをデジタルデータに変換し情報の活用と保全に思うが何う。

資料館のマイクロフィルムについて

答弁 湯沢町も、今後のデジタルデータによるバックアップは必要、保存しているマイクロフィルムの状態が良いうちに順次デジタルデータ化を進めて行く。

質問 トピックス生活の「国民健康保険・後期高齢者医療保険からのお知らせ」「ジェネリック医薬品を上手に利用」どういう意味なのか何う。湯沢町の後発品の使用率が高いのに。

答弁 国保も湯沢病院の経営も、効率化を図れるところはしっかりと図り、その分

広報ゆざわについて

のサービスを町民に。

質問 今回の大項目に「変化への挑戦」又「重点政策」の中に・すべての人に優しい町を目指す。JR越後湯沢駅東口のエレベーター設置や駅前トイレなどバリアフリー化を進めた。・魚野川周辺整備を更に進める。この2点は町長の提案か何う。

答弁 駅東口エレベーター設置は私の考えの下で指示を行い、整備を進めたと思っっている。魚野川周辺の整備とは万年橋、駐車場、公衆トイレの整備です。

町長4期目の選挙資料について



Q 立柄橋付近におけるスケートボード行為への対応は

水谷幸乃 (文責)



A まずは現状の把握と警察と連携

立柄橋付近におけるスケートボード行為への対応について

近年、立柄橋付近において、スケートボードをする若者が多数見受けられます。この行為は、周辺住民や観光客の安全を脅かすだけでなく、景観を損ない、観光地としての価値を低下させる可能性も指摘されています。

質問 観光地として景観悪化する振興の妨げになることや地域の子どもが見ている中、マナー違反を放置することは教育的観点でも問題と考えるが今後の対策は。

答弁 警察と協議連携していく。



質問 愛好者との共存を確立しつつ、町独自で禁止区域の指定や条例の制定などできないか。

答弁 道路交通法に基づいて検討。看板設置などの方法もあるがまずは現状把握。

湯沢町社会福祉協議会の通所介護事業の地域密着型への移行と、介護人材確保に関する課題について

湯沢町社会福祉協議会が運営する通所介護事業が、令和7年12月より地域密着型へ移行し、訪問介護事業についても、土日閉所の体制へと変更された。町内の介護人材不足や事業運営体制の厳しさを背景としているものと推察するが、町民の介護サービス利用の機会や生活支援体制に影響が及ぶおそれもある。

質問 移行した経緯と町としての状況把握

答弁 介護人材不足等により定員数のご利用者が受け入れられないこと、また地域密着型に移行することにより経営状態の安定につながる。現在新規ご利用者は受け入れ中止の状況。入浴サービス



スの補助として、ケアハウスの入浴施設を使用しミニデイサービスを開始している。

質問 町の福祉サービスが崩壊しかけている。今後の具体的支援策は。

答弁 現在も運営補助金として約3,500万補助している。今後については社協と情報共有しながら検討していく。



Q 熊による被害対策について

みや た まり こ
宮 田 眞理子 (文責)



A 補助金の見直しを図り 助成をできるように…

質問

今年熊の目撃情報が大変多く、先月は熊に襲われ怪我人も出てしまった。警察、消防署、役場、消防団の方々が警戒に当たっていたにしているが、未だに夜などは怖くて歩けない状態にある。産業建設常任委員会の中でもお話させていただいたが、柿の木伐採にかかる費用の助成を考えてはどうか。また警戒だけでは熊はいなくならない。根本的な施策を行うべきである。

答弁

「強い経済」を実現する総合経済対策」の第一の柱「生活の安全保障、物価高への対応」の中にも「クマ被害対策パッケージ」という文言が出てきている。今後、町としてどのように動いていくか。



この度の緊急銃猟の協力体制整備や、県の熊捕獲緊急支援事業補助金で捕

獲、熊スプレー、センサーカメラ等のため補正予算を計上している。現行の補助金の

見直しを図り、柿の木伐採等を助成できるようにしていきたい。

「強い経済」を実現する総合経済対策」の決定を受け、町が進めていく 施策の方向性はどうか

質問

「生活の安全保障・物価高への対応」として、地域の実情にに応じて物価高の影響を緩和（重点支援地方交付金の拡充）とある。生活者支援では、①食料品の物価高騰に対する特別加算、例としてプレミアム商品券、電子クーポン、お米券、現物支給。

一人1万円程度になるうかと思うが、1月中に届けることができるようになるのではないかと考えている。

②低所得者支援。③物価高騰に伴う子育て支援、例として小中学校における給食費の支援。④消費下支え等を通じた生活者支援等が挙げられている。

質問

障がいのある子どもに寄り添う
施策について

障がいは多様化してきている。町内の幼児・

それぞれ進学時期には悩むことも多くあると想像する。そのような時に、町として寄り添うことができる施策として「障がいのある子の入学ガイド」があれば良いと思うがどうか。

答弁

湯沢町では出生前から卒業するまで、保健師が全ての子どもについて把握している。子育て支援ガイドブック「すくすく湯沢っ子」や支援者と保護者を繋ぐパスノートを作成し活用している。不安なことがあればいつでも子育て支援課にご相談いただきたい。

答弁

お米券等と世間では言われているが、湯沢においては一番効果の高い現金給付を考えているところであ

町としてのどのように進めていくか伺う。

児童の障害の状況はどのようにになっているのだろうか。障害をお持ちのお子さんの親御さんは、小学校、中学校



子育てガイドブックの表紙



岸野 雅人 (文責)

Q 外国人・移住者向け条例などの整備を



&

A 必要性は感じるが、予定はない

質問

湯沢町民が異文化を理解尊重をする一方、来訪者・移住者には地域に根差した文化習慣に親しみ、互いの許容と実践により和をもって穏やかな日常が送れるようであってほしい。

トラブルを未然に防ぎながらも無理や苦痛なく日々の生活が送れるよう、行政ができる環境整備を進める必要がある、この町がいかなる日常を目指して進むのが示されるべきだ。

愛すべき湯沢町の将来のために、何らかの条例などの整備が必要と考える。いかがか。

答弁

移住者・外国人の方々が無理なく健やかに生活できる環境整備について検討を進めて行く。

ご提案頂いた条例等の整備は、町の現状や課題・地域の実情を踏まえつつ、必要性や実効性を慎重に検討して行く。



外国人の移住者も増えています



「交通無法地帯」 かも見られる場面も

Q

温泉通りの駐車場整備は民間主導が理想

A

まずは現有駐車場の活用から

質問

冬期間の越後湯沢駅西口広場と県道の温泉通り、その繁忙時の混雑ぶりは、交通無法地帯かと思われる場面も目にする。利用しやすい駐車場整備が端的な対処。

滝沢駐車場と資料館協働させて夏場220台以上の駐車

質問

スペースを確保しているが、さらなる需要には立体化しかない。駐車場計画など方策はあるか。

答弁

滝沢駐車場管理運営の見直しを検討中。無人料金精算システムバーの設置で年間の有料化や一般区画専

用の廃止、日利用の駐車スペースの増加、消雪水での除雪方法など。その上で、駐車場の必要性等検討したい。

質問

温泉通り混雑解消には、現有駐車場の運用だけでなく立体化も考えられる。問題は採算性と事業主体。

お客様の駐車場確保は事業所の責任として、利用方法と採算を検討の上、行政も含め真剣に考える皆さんが出資し法人を作り、借入れをして駐車場を経営するくらいの覚悟がなければ、解決は難しい。駐車場経営に関与する会社もあるし、プロマネージャーとして、観光まちづくり機構の出番もありうる。いかがか。

答弁

民間の方々がりスクを負い取組むなら、考えられると思うが、今は現有施設の活用し効率を上げたい。

議員全員協議会

※全員協議会は、議会の協議また意見調査、本会議審議に伴う協議または、意見調整、執行部による事前説明及び意見聴取の場として、会議が開催されます。

9月19日 第10回

子育て教育部

全国学力状況調査の結果

6年生は、3科目全てで全国及び県平均を大分下回っており、V字回復プランを練っている。9年生は、数学以外は全国平均、県平均を上回るか同等。就寝時間などの生活リズムにおいて、6年生が全国平均（81.9%）を7.6ポイント下回り、9年生は全国平均（81%）を3.2ポイント上回る。生活リズムの安定と学力に相関がある。

総務部

湯沢高原の決算状況（令和6年6月～令和7年5月）

夏季シーズン（6月～11月）は梅雨が長引いたこと、9月の悪天候が響き、来場者は前年度比94.4%。冬季シーズン（12月～3月）は順調な降雪、インバウンドの増により前

年度比107.1%と増加。春シーズン（4月～5月）は、GWの残雪と天候不良の影響から前年度比65.1%。夏季インバウンド獲得に向けた新たな魅力創出、施設の老朽化、従業員不足が今後の課題。



総合防災訓練の実施

8月31日(日)に湯沢学園において7年ぶりに実施。参加人数は1,462人と前回（令和元年2,009人）よりも大幅減となったが、お子様からご年配の方にも足を運んでいただき、防災意識向上のきっかけづくりになった。令和9年には湯沢町を会場に新潟県総合防災訓練が行われる予定。

10月28日 第11回

十日町市との境界裁判

10月に十日町市の最高裁への上告が棄却され境界が確定。今後総務省の告示により国土地理院の図面が修正される。

企画産業観光部

湯沢温泉通り歩行者空間創出社会実験

10月から11月にかけて、温泉通りを安全で歩いて楽しい歩行者目線の道路として活性化させることを目的とした社会実証実験を行う予定であったが、地域への説明不足があったことから開始時期を延期する。



防災訓練での非常食の展示

議会活動日誌

- 10月2日 東京電力信濃川電力所長就任挨拶対応
- 3日 令和7年度湯沢認定こども園運動会
- 3日 議会広報常任委員会
- 4日 湯沢町制施行70周年記念事業に伴う交流会
- 8日 湯沢町制施行70周年記念式典
- 8日 アサヒビールへの感謝状贈呈式
- 9日 令和7年度国道17号群馬・新潟県境地区防災事業促進期成同盟会総会
- 9日～10日 新潟県町村議会議長会 議長会議（聖籠町）
- 10日 第34回湯沢町高齢者福祉大会
- 10日 議会広報常任委員会
- 15日 栃木県日光市議会行政調査特別委員会行政視察対応
- 16日 第38回湯沢町民ゴルフ大会表彰式
- 16日～17日 全国町村監査委員会研修会（東京LINECUBE SHIBUYA）
- 17日 議会広報常任委員会
- 21日 令和7年度南魚沼地域合同除雪出動式（国土交通省塩沢除雪ステーション）
- 23日 令和7年第3回魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会及び全員協議会（八色園）



閉会中の常任委員会調査

※閉会中常任委員会調査は、閉会中（定例議会と定例議会の間）に行われる継続審査や、調査の必要がある議題について行われる委員会です。

総務文教常任委員会

マグナホームステイの今年度の状況、課題について

今年度は生徒6名が参加し異文化交流の意義を確認したが、ホストファミリー不足が深刻化している。事業の方向性を企画観光課と再検証する必要性が議論された。

文化財について

荒戸城跡など10件の維持管理状況が報告された。学校教育での活用や担い手不足、所有者への修繕費8割補助制度などが確認され、後世への継承が重要視された。

役場業務のDX改革の進捗状況について

マイナンバー条例改正や健診予約オンライン化、窓口多言語対応等が報告された。働き方改革として勤怠管理システム導入や生成AI活用を進める一方、AI利用時の機密情報

生活福祉常任委員会

町税の課税と収納状況について

9月末の町税は定額減税終了等で前年を上回るが、施設閉鎖で法人税は減。徴収率は向上中。予算との乖離は、過去の徴収率を考慮し「確実な収入見込額」として保守的に計上したためと報告された。

グループホーム誘致に向けた取り組み状況について

誘致が進まないため対象者へアンケートを行い意向を確認する。高床式建物が建築基準法上不適格な点や、ニーズの高い日中支援型施設が近隣にない現状が報告され、調査結果を踏まえ対策を検討する。

産業建設常任委員会

農業委員との意見交換

7年産米は1等米比率が高く品質良好。資材高騰が経営を圧迫し耕作放棄地も増加傾向にあるため、農地パトロール強化や所有者指導など、議会・行政との連携や若手後継者の育成が必要とされた。

地域公共交通の現状及び湯沢温泉通り歩行者空間創出社会実証実験について

公共交通はバス利用者増に加えライドシェア増車申請中。温泉通り歩行者天国実験は説明不足等の反発で延期され、今後はワークショップ等で住民意見を反映させ次年度以降の実施を目指し計画を練り直す。

滝沢駐車場の管理運営について

年間約800万円の赤字解消等のため、通年有料化と無人ゲート導入を検討中。既得権化した近隣専用区画は廃止し代替地を調整するほか、温水井戸活用による除排雪コスト削減も視野に協議を進める。

23日	魚沼地域特別養護老人ホーム 組合監査（八色園）
26日	2025湯沢町ふれあい福祉 健康フェスティバル
27日	例月監査
28日	第11回議員全員協議会 越後湯沢駅東口駅前広場運用 検討会議
29日	第45回町村議会広報研修会新 潟県自治会館
30日	新潟県町村自治に関する研修 会
31日	町村長と町村議会議長との意 見交換会（新潟ホテルイタリ ア軒） 湯沢学園創立10周年記念式典 並びに学習発表会・合唱コン クール参画及び祝賀会
11月1日	令和7年南魚沼市消防審議会 （南魚沼市消防本部） 新市誕生20周年記念式典（越 後妻有文化ホール） 津南町町制70周年記念式典 （津南町文化センター）
4日	新潟水俣病全被害者の救済請 願説明のため来庁対応
4日 ～ 13日	行政監査及び定期監査
9日	令和7年度湯沢町芸能発表会
10日	埼玉県ふじみ野市議会・市民・ 都市常任委員会行政視察対応
11日	埼玉県川島町議会 議会運営委 員会行政視察対応
12日 ～ 13日	第69回町村議会議長全国大会 及び令和7年度町村議会議長 全国研修会・実行運動（県関 係国会議員へ要望活動）・議

本会議の内容を確認
できます

本会議の内容を インターネットとラジオで確認できます



インターネットにより
本会議の動画配信を
行っています

- ① 湯沢町ホームページから
- ② 町議会情報を選択
- ③ 議会インターネット映像配信を選択
- ④ 目次から日付を選択してください



一般質問は
FMゆきぐにによる
音声配信をしています



フェイスブックにより、議会の
活動報告を行っています。イン
ターネット回線を使い、会員登録
することで議会の動きがいつ
でも確認できます。

議員と「まちづくり」について意見交換しませんか

出張意見交換会

お申し込み・
お問い合わせ

湯沢町議会事務局

〒949-6194 南魚沼郡湯沢町大字神立300番地
TEL.025-784-3115 FAX.025-784-3510
Eメール gikai@town.yuzawa.lg.jp

湯沢町議会は、議会運営および議員の活動に
関する基本事項を定めた「湯沢町議会基本条例」
を平成27年の4月に制定しました。

◆議会基本条例 5条-2より

「議員は地域、組織、団体等町民と
の意見交換の場へ積極的に参加し、
また場を設けて広く意見を聴き、政
策立案強化を図る責務を有する」

これに基づき、議会との意見交換会を希望す
るグループ・団体のみなさまのところへお伺い
します。

対象

町内において活動するグループ・団体
で、おおむね10名以上の会合等。

申込
方法

申込書に必要事項を記入し、湯沢町議
会事務局へご持参いただくか、FAXで
送信またはご郵送ください。Eメール
で必要事項を送信していただいても受
け付けます。

申し込み受け付け
後、担当の委員会で検
討した上で、開催可否
を決定し、ご連絡いた
します。

※申込書は、議会事務局に置いてあります。



26日	25日	17日	16日 ~ 25日	12日	11日	8日	12月 3日	27日	26日	25日	20日	18日	14日	13日	12日	
魚沼地域特別養護老人ホーム 組合監査(八色園)	例月監査 第12回議員全員協議会	第12回議員全員協議会	第8回定例会	湯沢地区区内会長懇談会(湯 沢地区選出議員)	湯沢高原スキー場安全祈願祭 湯沢地区区内会長懇談会(湯 沢地区選出議員)	新任議員事前打合せ 議会運営委員会	祭 神立スノーリゾート安全祈願 祭	援助団体監査(ユースポ!湯 沢町)	例月監査	町村議会議員後期研修会(新 潟県自治会館)	組合監査(八色園)	産業建設常任委員会 魚沼地域特別養護老人ホーム 組合監査(八色園)	令和7年度湯沢学園生徒海外 派遣事業報告会	新潟県スキー場協議会 免税軽 油申請説明のため来庁対応 南魚沼市議会正副議長就任挨 拶対応	生活福祉常任委員会 新潟県スキー場協議会 免税軽 油申請説明のため来庁対応	長会議(東京NHKホール・ ブランドアーク半蔵門) 第6回湯沢町老人クラブ連合 会「熟年成人式」(湯沢東映 ホテル)

新人議員あいさつ

とみざわ まさ ふみ
富沢 雅文



この度、町議会議員補欠選挙において当選した富沢雅文です。出身は二居、現在55歳になります。大学卒業後、平成5年に湯沢町役場に採用され、令和7年9月末まで約33年間勤務させていただきました。役場を退職した理由は、両親が50年前に二居で始めた旅館業を継業するためです。

ちよつど退職するタイミングで地域の方から「行政の経験を活かして議員に挑戦してもらえないか」というお話をいただきました。というのも大字三国では約10年間、議員がいなかったためです。このお話をいただき、私も自分の経験を地域のために活かすことができればという気持ちがあったため、立候補を決意しました。私の一番の強みは、長年の行政経験を活かして、地域の皆さん、町民の皆さんと行政をしっかり繋ぐこと、そして行政時代に築いた国・県関係機関との人脈を、湯沢のまちづくりに活かしていくことです。

我が町の持つ立地、交通インフラ、自然環境などの資源は、潜在的なポテンシャルが非常に高いものです。こうした資源をさらに活用しながら、行政時代に解決することのできなかった課題を、新たな立場で町執行部とともに解決できるよう頑張っております。今後ともご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



本年もよろしくお祈いします

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

さて、今冬の始まりは降雪が遅く心配されましたが、なんとかスキー場もオープンでき、お客様をお迎えして新年を迎えることができました。

しかし、国際情勢がさらなる混乱を深め、高市新内閣の信を問う政局になってきました。目先のことだけにとらわれない地方自治の取組みも問われるところです。

この度の『議会だより』編集は、議会の広報研修の学びを活かし、読みやすさを追求しながら、町民の皆様特に読んでほしい部分に絞って編集しました。

つきましては、ご意見・ご要望をお寄せ頂けましたら幸いです。

編集委員 南雲 好幸

議会広報常任委員会

委員長 南雲 好幸

副委員長 水谷 幸乃

委員 富沢 雅文

委員 飯田 正義

委員 南雲 あや子

委員 渡辺 千恵